

プロスポーツ団体との連携による スポーツの振興

スポーツでまちに元気を!

教育委員会 スポーツ推進課

牛久市におけるプロスポーツ団体との連携協定





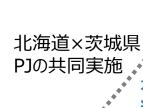


茨城アストロプラネッツ 茨城ロボッツ 鹿島アントラーズ プロスポーツ連携『フレンドリータウン』連携協定締結

本協定は、互いに活動を連携・協力し、スポーツによる、 魅力あるまちづくりを推進することを目的にしています。

- (1)市民スポーツの振興及び普及に関すること
- (2)青少年の健全育成に関すること
- (3)市民の健康増進に関すること
- (4)地域資源の活用及び振興に関すること
- (5)情報配信に関すること
- (6)その他本協定の目的に関すること







CITY OF USHIKU



茨城県南西7市の連携による ファイターズとの『パートナーシップ』連携協定 締結

本協定は、スポーツによる地域活性プログラム、スポーツと観光を 組み合わせたツーリズム、新たな教育旅行の実践など、スポーツ・ 教育・旅行を軸に新しい地方創生モデルの構築を目指し、スポーツ と地域資源を掛け合わせた持続可能な街づくりに寄与してまいりま す。



鹿島アントラーズと牛久市の取組展開



2023年度

プロスポーツ × 地域連携事業 スクール指導員と地域指導員の交流機会 創出

2022年度

平日施設稼働率UPを目標にスタート・地域資源活用市民の皆様にプロスポーツを身近で『みる』機会創出

フレンドリータウンDAY『牛久の日』

『鹿島スタジアム 抽選500組1,000名 牛久市民無料招待』

今年度は6月22日~申込スタート

年間サッカースクール・サッカー体験会の開催



プロスクールの指導スタッフ による高いサッカー指導が受 けれるようになりました





茨城アストロプラネッツと牛久市の取組展開



2022年度

2023年度

プロスポーツ × プロスポーツの連携事業スポーツと連携した風物詩イベントの創出

平日施設稼働率UPを目標にスタート・地域資源活用で 市民の皆様にプロスポーツを身近で『みる』機会創出

年間10試合以上 牛久運動公園野球場



5/17(水) 17:00 Vs 新潟 アルヒレックスルc 5/18(木) 17:00 Vs 新潟 アルヒレックスルc 5/24(水) 17:00 Vs 福島 レットホーーフス 5/31(水) 17:00 Vs 福島 レットホーーフス 6/27(火) 17:00 Vs 栃木 コールテンフレーフス 6/28(氷) 17:00 Vs 神奈川 フューテャートリームン 7/11(火) 17:00 Vs 栃木 コールテンフレーフス 7/15(土) 17:00 Vs 栃木 コールテンフレーフス 7/16(日) 17:00 Vs 栃木 コールテンフレーフス 8/6(日) 17:30 Vs 埼玉 エ繝ヒートヘスース

子ども・学生と交流イベント ベースランニング・キャラクター,選手交流 小学生以下 いつでも無料



牛久市民DAY 市民無料招待



8/6開催 アストロプラネッツ花火ナイター ダンスパフォーマンス大会同時開催 地域の子どもたちの夏祭り同時開催



茨城ロボッツと牛久市の取組展開



2022年度

2023年度 プロスポーツ × プロスポーツの連携事業

牛久市とのスポーツ教育支援・スポーツ環境援助

地域活性化事業として政策企画課と共同スタート

エスカード活性化事業 短期チアダンススクール開催





アダストリア水戸牛久市民無料招待 根本市長 牛久市PR



8/6開催 アストロプラネッツ『花火ナイター』 茨城ロボッツ チアダンススクール生出演







R5 4月開講 通年バスケット・チアダンススクール スタート

ロボッツ経営M-GARDEN『ときわ邸』 シャトービール販売







教育支援型自販機 売上の一部が市のスポーツ教育へ寄付 緊急時は、備蓄倉庫としても活用







北海道日本ハムファイターズと牛久市の取組展開



FIGHTER5

2023年度

プロスポーツ × 地域連携事業 スクール指導員と地域指導員の交流機会 創出

2022年度

スポーツを通じたエリアマネージメントツーリズムによる交流人口の増 (北海道×茨城県プロジェクトの連携活用)









始球式



イースタンリーグ公式戦 会場前 地域中学生合奏+和太鼓の演奏会を実施 7市のPRブース

場外教育イベント『放課後ボールパーク』

子どもが自由に遊べる空間











放課後PLAYパーク「投げる大作戦」の取組



F FIGHTERS

が言果後・ アレハソルシーク 砂げる大作戦!

みんなのマイボール で記念撮影



うしくっ子体力向上プロジェクト実行委員会による 3か月間のプロジェクトを実施



2軍木田監督から激励をもらいました





試合後 一人一人の発表会



投げる」遊びで苦手克服

牛久市など官民連携プロジェクト

創生官民連携プラットフォ くる「スポ など県南・県西の7市でつ は「子供の新たな一面を見られた」と感想があがっ球の試合で始球式を行った。参加した児童の親から 動作に特化したプログラムを受講し、最後はプロ野今年6~9月、ボール投げの苦手な児童らが投げる ロジェクトを実施した。その名も「投げる大作戦」。 い自分に出会う プロジェクトは、 ムミ」とプロ野球・ 企業などが連携し、 投げる遊びを通して、 メンコや的当て ツによる地方 牛久市や筑波大発のベンチャ 同市内の小学生向けにあるプ これまで知らなかった新し を通じて苦手なことに挑戦 よる協力事業の一環。 自分の可能性に気づかせた 功体験をしてもらうことで (田原遼、 不可能を可能にする成 松岡妙佳)

> 子で約1・5 片低下、 年と比べ男子で約5以、

市内

道日本ハムファイタ たりするのが狙い 主体性を身につけさせ

るとみられるという。

全10回のプログラムに

による外出自粛の影響があ

投げる動作をする機会が減 技を禁止する公園が増え、 ある。市教委によると、 の子供たちも同様の傾向に

少したことや、

新型コロナ

革でできたスポー 生約20人が参加。グラブの を地面にたたきつけてより 障害物に向かって次々とボ 大きな音を鳴らす遊びや 同市内の小学3~5年 ツメンコ

で音を鳴らす遊びを通じて投げる動作を学ぶ子供

月雪司

sport (牛久市で)

取手、牛久、守谷、坂東、 つく ばみらいの7市で構成する団体。 ファイターズなどと協力し、小 で地方創生事業に取り組んでいる。

には自分で自分を変えて

いく楽しさを、

後も「投げる」プロジェク につながれば」と話す。 供の見方を変えるきっかけ とん 通して投げる動作を習得し 正しいフォームを身につけによる指導や遊びを通して られなかった子も、 いるかって子も、専門家の初めは横からしか投げしていまし ルを投げる的当てなどを

成長促す

げる」行為に焦点を当てた。

字5年生のソフトボ

ツ庁の調査では、

の昨年の平均は20

投げの平均記録が低下

小学生のボ

1成功体験

を行った。 たという。 る体験をした。 マウンドからボ 職員が捕手となり、 タ 人が行い、 仕上げとして9月中旬に 市内で開催されたファ -ズの二軍戦で始球式 ■プロ野球の始球式 始球式は代表の 試合後に球団 ルを投げ 全員が

やそうと参加した。「やっ 奏多君(10)は運動機会を増 からも続けたい」と笑顔を やそうと参加した。 チャ 持って取り組んでいた。 と思っていたが、 大さん(4)も「運動が苦手 示すようになった。 の思い込みで活動を制限せ しみたら楽しかった。 連携している筑波大発ベン にい」と新たな気付きを得 人さん(29)は「子供たち「七8ジャパン」の阿部隼 ん様子だった。 始球式を体験した市立ひ プロジェクト責任者で、 色んなことに挑戦させ 他の球技への意欲も 企業「Waispo 向上心を 父親の これ 親